2．減価償却の会計処理方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用しております。

耐用年数については、法人税法上の耐用年数を基準としておりますが、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建　　物　３～50年

構　築　物　３～60年

工具器具備品　３～15年

なお、受託研究収入等によって購入した固定資産は、研究期間で減価償却しております。

また、特定の償却資産（国立大学法人基準第84）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

⑵　無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては法人内における利用可能期間（５年）に基づいております。

3．賞与引当金の計上基準

運営費交付金による財源措置の無い職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外賞与増加見積額は、国立大学法人会計基準第85第２項に基づき計算された賞与引当金の当期増加額を計上しております。

4．退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

運営費交付金による財源措置の無い職員の退職給付に備えるため、運営費交付金による財源措置の無い職員の退職一時金については、国立大学法人会計基準注解30に基づき、簡便法により計算した退職給付（自己都合要支給額）に係る引当金を計上しております。

なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、国立大学法人会計基準第86第４項に基づき計算された退職一時金（自己都合要支給額）に係る退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

5．徴収不能引当金及び貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権及び破産更生債権等については、個別の債権の回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。

6．有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券は償却原価法による定額法を、その他有価証券である金銭信託については、時価を把握することが極めて困難と認められるため、移動平均法による原価法を採用しております。

7．たな卸資産の評価基準及び評価方法

⑴　評価基準

低価法を採用しております。

⑵　評価方法

医薬品及び診療材料については、当面の間、評価方法は最終仕入原価法により行っております。

8．外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

9．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や家賃等を参考に計算しております。

⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成27年３月末利回りを参考に0.395％で計算しております。

10．リース取引の会計処理

リース料総額が３百万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が３百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

11．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。

12．財務諸表等の表示単位

財務諸表等は、千円未満切捨てにより作成しております。

ただし、「利益の処分に関する書類（案）」については円単位で表示しております。

（減損の兆候が認められた固定資産に関する事項）

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

| 固定資産の用途 | 種　類 | 場　所 | 帳簿価額 |
|---|---|---|---|
| ①土地（宿舎用） | 土地 | 東京都文京区 | 232,000千円 |
| ②土地（宿舎用） | 土地 | 東京都新宿区 | 405,000千円 |
| ③土地（教養部） | 土地 | 千葉県市川市 | 267,986千円 |
| ④電話加入権 | 電話加入権 | 東京都文京区 | 1,390千円 |

⑵　認められた減損の兆候の概要

| | |
|---|---|
| ①土地（宿舎用） | 使用していない状況にあります。 |
| ②土地（宿舎用） | 使用していない状況にあります。 |
| ③土地（教養部） | 使用出来ない状況にあります。 |
| ④電話加入権 | 固定資産の市場価格が著しく下落しております。 |

⑶　減損を認識しない根拠

| | |
|---|---|
| ①土地（宿舎用） | 今後の有効活用に関して現在検討を行っていること、また、帳簿価額を回収可能サービス価額が上回っているため、減損の認識は行っておりません。 |
| ②土地（宿舎用） | 今後の有効活用に関して現在検討を行っていること、また、帳簿価額を回収可能サービス価額が上回っているため、減損の認識は行っておりません。 |